

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

町農業後継者祝金贈呈式



祝金を受け取る農業後継者の皆さん

さつま町農業後継者祝金贈呈式が11月6日、町役場町長応接室で行われました。これは、さつま町に後継者として新規に就農した方に、就農意欲の向上と優れた農業として経営者の育成を図り、本町の農業の活性化と農村振興に寄与することを目的とし祝金を贈るものです。本年度は、梅、茶、ねぎ、生産牛、酪農、養鶏に7人が後継者として就農し、井上町長から農業後継者へ励ましの言葉が贈られ祝金が贈呈されました。

大長集落にNHKが取材入り



インタビューに答える大長集落の皆さん

NHK「ためしてガッテン」の番組取材班が11月16日、大長集落に取材入りしました。当日は、大長のタケノコを素材にして従来の米ぬかからアクを取る方法と大根汁を利用してアクを取る方法とどっちが美味しいかを、実験形式で行いました。大長集落は、久富木地区内にあり、タケノコ生産地として知られています。番組は、来年1月14日に放送される予定です。

宝満辰郎さん優良賞
県ホルスタイン共進会
鹿児島県ホルスタイン共進会が11月1日、始良中央家畜市場で開催され、県内各地から選り抜かれた80頭が8部門で乳牛の美点や育成技術などを競いました。本町からは、久富木在住の宝満辰郎さんが薩摩・出水地区の代表として第4部（未経産牛18ヶ月〜22ヶ月未満）に出品され、日頃の手入れや調教の努力により、優良賞に輝きました。



ハツエアンコールエクセル号と宝満辰郎さん



コンクールで受賞した薩摩黒切子鏡

薩摩黒切子鏡が受賞
県特産品協会理事賞
消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを目指す「2008かごしまの最新特産品コンクール」で、本町の「薩摩びどろ工芸」の「薩摩黒切子鏡」が県特産品協会理事賞に選ばれました。鏡と黒切子をあわせたこの商品は、スタイリッシュで落ち着いた雰囲気を出し、男女問わず気軽に使えるよう配慮されています。



熱心に講話を聞く薩摩中央高校の生徒

社会学セミナー開催
薩摩中央高等学校
地元企業の理解を深め、生徒の進路意識を喚起することを目的に、社会学セミナーが10月31日、薩摩中央高等学校で開催されました。講師として招かれた日本特殊陶業株式会社宮之城工場場の杉本誠工場長は、自動車のスパークプラグ製造を中心とした会社の紹介や自身の経験談をもとに、働くことの意義など独自の職業観を話されました。

活動の輪を広げよう
川薩地区母子寡婦福祉研修大会
川薩地区母子寡婦福祉研修大会が11月9日、鶴田中央公民館で開催され、さつま町と薩摩川内市の会員約200人が参加しました。大会では、小緑絹代会長が母子家庭と寡婦の自立促進や努力目標を呼びかけました。また、つるだ同朋保育園長で法城寺住職の副直子さんの講演やさつま町在住の神上園妙子さんと神園美子さんが活動発表を行いました。そのほか、さつま町在住で音楽活動をされている小原裕貴さんのピアノと横山より子さんのバイオリン演奏も行われ、会場から大きな拍手が贈られました。



講演をする副直子さん

故郷に愛される焼酎を
堀之内力三さん・最優秀賞
九州・沖縄地区の各県商工会青年部代表が、青年部活動を通して地域づくりへの思いなど発表し弁論を競う「若い経営者の主張大会」が10月14日、佐賀市の文化会館で開催されました。この大会に、宮之城屋地酒店を営む堀之内力三さんが鹿児島県代表として出場し、「作る人、飲む人、売る人の垣根をなくした地元のための地元」にこだわった芋焼酎をつくり、みんなが一つになった夢と勇気、喜びが地域ブランドの誕生につながったことを訴え、最優秀賞を受賞しました。堀之内さんは来年2月10日に福岡市のヤフードームで開催される全国大会へ出場します。



受賞の喜びを伝える堀之内力三さん（中央）



ストロー笛で演奏する神谷徹さん（左）

ストロー笛演奏会
青少年芸術鑑賞事業
リコーダー奏者の神谷徹さんによるストロー笛の演奏会が10月27日、盈進小体育館で同校の全校児童を対象に開催されました。大小さまざまなリコーダーの演奏から始まり、盈進小学校の徳田先生との共演やシャボン玉の出るストロー笛、吹く人が走りだす人型ストロー笛など、いろいろなストロー笛を使って作られた面白い笛が次から次へと登場し、子どもたちの歓声と笑いが絶えない楽しい演奏会になりました。演奏会は28日、山崎小体育館でも開催され、山崎小学校、平川小学校、泊野小学校、白男川小学校、椋野小学校の全校児童も楽しみました。



ステージで元気に歌う子どもたち（柏原小）

みんな奏でる音楽祭
小中学校合同音楽発表会
第4回さつま町小中学校音楽発表会が11月7日、宮之城文化センターで行われました。「かごしまの教育県民週間」中でもあり、多くの保護者の皆さんも鑑賞に訪れました。町内の18小中学校全校が参加する唯一の行事だけに、子どもたちの爽やかな演奏や元気のある歌声に大きな拍手が贈られました。今年の発表では、学校の特色が表れるような内容を取り入れられ、先生と子どもたちが一体となって発表していました。



舞台芸能発表で民謡を熱唱する出演者（宮之城文化祭）

芸術の秋色染まる
町文化協会・各支部文化祭
薩摩文化祭が11月1日と2日、宮之城文化祭が11月2日と3日、薩摩農村環境改善センターと宮之城文化センターでそれぞれ開催され、24日は鶴田文化祭が鶴田中央公民館で開催されました。各会場とも展示発表と芸能発表があり、展示発表は、水墨画や絵画、短歌、絵てがみ、生け花など、色とりどりの作品が会場を飾りました。芸能発表では、和太鼓、五つ太鼓、舞踊、ハモニカ、フラダンスなど、様々な演目で舞台を魅了しました。各会場で、それぞれの団体が、1年間の練習の成果を発揮した文化祭となりました。



喜びでいっぱい宮之城中学校陸上部員

九州大会へ出場
宮之城中学校陸上部
川薩地区中学校駅伝大会が10月22日、蘭牟田池周回コースで開催されました。宮之城中学校陸上部の男女が共に1位、鶴田中学校陸上部の女子が4位に入賞し、11月12日に指宿市営競技場で行われた県大会に進みました。県大会では、宮之城中学校女子が2位とすばらしい結果を残し、11月28日から29日に佐賀県で行われた九州大会へ出場しました。宮之城中学校陸上部男子は21位、鶴田中学校女子は31位でした。



福満教育長へ報告する宮里知樹さん（中央）と野田瑞貴さん（左）

中学バレー県選拔選手
宮里知樹さん・野田瑞貴さん
第22回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（JOCジュニアオリンピックカップ）に出場する鹿児島県選抜として、さつま町から宮之城中学校男子バレーボール部の宮里知樹さんと同女子バレーボール部の野田瑞貴さんが選手に選ばれました。2人は、毎週土日、12月に行なわれる大会に向けて厳しい練習や遠征を行なっています。大会名「第22回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（JOCジュニアオリンピックカップ）」大会期日「12月25日〜28日」大会会場「大阪府立体育館・大阪市立中央体育館」